

## V. 自由意見のまとめ

## 1. 自由意見（抜粋・要約）

男女共同参画社会実現のための意見、要望について寄せられた自由記述（131人）の主な意見を抜粋し要約する。

| 年 代                       | 20 歳未満 |     | 20 歳代 |     | 30 歳代 |     | 40 歳代 |     | 50 歳代 |     | 60 歳代 |     | 70 歳以上 |     | 計   |     |
|---------------------------|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|--------|-----|-----|-----|
| 性 別                       | 女 性    | 男 性 | 女 性   | 男 性 | 女 性   | 男 性 | 女 性   | 男 性 | 女 性   | 男 性 | 女 性   | 男 性 | 女 性    | 男 性 | 女 性 | 男 性 |
| (1) 仕事について                |        |     | 3     | 1   | 2     | 2   |       |     |       |     |       | 4   |        | 1   | 5   | 8   |
| (2) 日常生活や子育てについて          |        | 1   |       | 2   | 4     | 1   |       | 1   | 1     | 1   | 2     |     | 1      |     | 8   | 6   |
| (3) 男女の地位に関する意識について       |        | 1   | 1     | 2   | 3     | 4   | 1     | 1   | 2     | 3   | 4     | 3   | 2      | 1   | 13  | 15  |
| (4) 健康や地域活動、老後の暮らしについて    |        |     |       |     |       | 1   | 2     |     |       |     | 1     | 1   | 2      | 1   | 5   | 3   |
| (5) 人権の尊重について             |        |     |       |     | 1     |     | 2     | 1   |       |     | 2     |     | 2      | 1   | 7   | 2   |
| (6) 男女共同参画社会の形成に関する意識について |        |     | 2     | 4   | 1     | 5   | 3     | 3   | 2     | 1   | 2     | 3   | 2      | 1   | 12  | 17  |
| (7) その他                   |        |     |       | 1   | 3     | 2   | 3     | 3   | 2     | 2   | 3     | 2   | 5      | 4   | 16  | 14  |
| 計                         | 0      | 2   | 6     | 10  | 14    | 15  | 11    | 9   | 7     | 7   | 14    | 13  | 14     | 9   | 66  | 65  |

（人）

### （1）仕事について

- ◆現状としては、女性が結婚後に仕事を変わりなく続けていくのは難しいとされる会社・企業が本当にまだまだ多いと思います。私は秋から本格的に就職活動に入りますが、長期的視野で見て長く働ける（育児休暇が満足にとれたり、労働者を大事にする）会社を探すのはなかなか大変だと感じています。「平等」という感覚を教育環境で子どもに教えるのもいいことだと思いますが、まず身近にいる女性の大人（母親など）が家庭も仕事も両立しているのを見せることが、子どもに「性別は関係なく働きたい人が働ける世の中」と実感させられる方法だと思います。（女性 20 歳代）
- ◆働く母親のために、もっと充実した保育環境を整えてほしい。子どもを育てるために、手当や税金を見直してほしい。働く女性が結婚・出産・育児を理由に解雇をちらつかされるなど、脅されたり、上司からの嫌がらせにより辞めさせられることがあれば、その会社に対して社会的にダメージがでるような罰則を設けてほしい。男性と女性は身体づくりからして違うので、男性は男性、女性は女性の部分を認めて欲しい。女性が働きやすい環境になることを切に願っています。（女性 20 歳代）
- ◆男女間での差別は仕事などであると思う。地域、社会が取組んで男女平等を実現することが望ましい。男性も女性も働きやすい環境を作る事が 1 番重要ではないだろうか。（男性 20 歳代）
- ◆仕事柄女性が大半を占める職場で勤めているため、職場における男女差別はあまり感じることは少な

いですが、実際にフレックスタイム（自由勤務時間）、育児休暇などは優先的に女性がとり、不平等な感を受けることがあります。昨今の経済危機も受け職場内でも人員整理、経費削減が進むなか、職場では、一人一人の仕事量もふえ残業もできないようになっています。一方で優遇され、一方ではその負担を強いられるのでは、本来の男女平等とはいえないのではないのでしょうか？正直“男だから”で片付けられたり“管理職だから我慢しろ”ではやりきれない気持ちです。（男性 30 歳代）

- ◆女性が幼児を預けて安心して働ける社会基盤の整備が重要である。形式的な掛け声だけの施策では意味がない。多様な働き方のできる職場環境の整備について、社会が真剣に検討する時期にきていると考える。大学生の就職活動においては明らかに男女差別が行われている。このような社会に「男女共同参画」なんて言葉はしらじらしい。（男性 60 歳代）
- ◆社会は年齢に関係なく雇用してほしい。（男性 60 歳代）

## （２）日常生活や子育てについて

- ◆短時間パートしている主婦です。パートナーとの信頼関係が、男女差別平等についての考え方を左右すると思います。もっと働きたいと思っはいますが、子育て、主婦の仕事、夫婦の時間などのバランスが保て、友人との付き合いも適度にあります。（女性 30 歳代）
- ◆男、女と主張するのではなく互いの体のつくり、役割など、各々あるのだから互いに感謝しあい、生きていくことが大事だと思う。（女性 30 歳代）
- ◆子どもがいてもいなくても、働きたい人が安心して働けたり、専業主婦をしたい人は専業主婦になれる、選択できる世の中になったらいいと思います。（女性 30 歳代）
- ◆男女共同参画社会実現の為には、矛盾したことを言いますが、母親が一日の大半の時間家にいて子どもが 10 歳になるくらいまで、人間は皆等しく平等で、人間としての（男女差なく）責任・義務を教え、命を大切に社会にしていかななくては、法で、いくら決めてもDVも性差別もなくならないと思います。ただ私も子どもがいなければ社会に出て男性と区別がなく働きたいと切に思います。（女性 50 歳代）
- ◆男性と女性の生まれ持った特性は違うと思います。良い点、悪い点それぞれ理解し、助け合って生活すべきだと思います。相手の話（気持ち）を聞く、話し合える関係を作っていけるといいと思います。（女性 60 歳代）
- ◆①子どもを育てる母親が意識をもって自覚を認めて平等な接し方をする。  
②教育の場で身体の仕組み働きを（性に限らず）科学的に見つめる習慣をつける。  
③男性にこそ男女共同社会の理念を教え込む。  
④女性自身も努力し身を律して学習し自立すること。  
⑤残念ながら“女性であるがゆえに”我慢していることがいたるところにある。  
⑥お互いが尊重しあい、尊敬し合えるなかでこそ成立する。（女性 70 歳以上）
- ◆あらゆるものに対して平等を進めるのではなく、男女それぞれの違いをよく考慮したうえで、柔軟な政策を実施してもらいたいと思う。（男性 20 歳代）
- ◆子どもを産んでからの環境が悪い。社会として子どもと高齢者との接点を増やし働きやすい社会を作る。（保育園と老人ホームの併設）待機児童を減らす取り組みをして欲しい。（男性 30 歳代）
- ◆本当に支援しなければならないのは、子どもを育てる女性である。（男性 40 歳代）

## （３）男女の地位に関する意識について

- ◆男の人も女の人もお互いを助け合う気持ちが必要だと思います。平等といっても女の人には男の人に甘えたり頼れる部分があるし、逆もあると思うから。今のままの制度が進めば、逆差別になると以前から強く感じます。（女性 20 歳代）
- ◆主人の考えや言動に、男尊女卑ではないかと思うことがあったりします。そのことを主人に伝えても、

改める様子は全くありません。育ってきた環境は人それぞれなので今更なおるものではないようです。時代とともに男女ともにお互いの立場を深く理解し、協力し合いながら楽しく暮らしていける世の中になっていってくれば嬉しいと思います。(女性 30 歳代)

- ◆男女平等には賛成だが、男性は男性なりに女性は女性なりに、できること、できないこと、向き、不向きはあるので、何から何まで平等にする必要はないと思う。また、権利主張ばかりいうのは間違っていると思う。(女性 30 歳代)
- ◆男は男らしくとか女はもっとしとやかにしろとかまだそんなことを言うような人がいると思ってほしいです。(女性 50 歳代)
- ◆才能のある女性が社会に出て活動すると心から応援しますが、周りの理解を得られなくストレスを感じている方が多いことも事実です。小さい頃からの教育、家庭教育から徐々に女性の社会進出の環境をつくって行くことが必要だと思います。(女性 60 歳代)
- ◆女性も健康で能力のある人は、男女平等で男性と対等すればよい。でもやはり男は上、たたえるべきと思います。(女性 70 歳以上)
- ◆完全な男女平等はやめたほうがよい。(男性 20 歳未満)
- ◆女性に対する差別や、嫌がらせ等はいいい事とは言えないけど、異常なまでに気にするのも最近では増えていると思う。結局「平等」という言葉で男性との更なる差別を生んでいるようにも思えます。色々な活動をされるのは素晴らしいと感じるけれども、活動する側が過敏にならないように願います。(男性 20 歳代)
- ◆現実、男女の差別はなくならないと思います。男と女がいて以上は何かしらの差別や問題は起こる事だと思います。(男性 20 歳代)
- ◆適材適所、男女の間で完全な平等などはありません。そういったことを踏まえても男女共同参画は必要だと思う。何から何まですべてを男女平等の考えの下すすめるのは間違いであり、逆に女性に対する過保護となる可能性を秘めているように思える。まさに”適材適所”。(男性 30 歳代)
- ◆男女共同参画社会の意味合いはとても素晴らしいと思いますが、男女の平等というのは難しいと思います。生まれてからそれぞれの役割があるので、それを尊重しあえばいいだけで、何もかも平等というわけではない私は思っています。税金を使ってするアンケートの価値はないと思います。(男性 30 歳代)
- ◆それぞれの人々の潜在意識のなかに男女平等が根付き、男しか、女しかという制限のない逆に男、女それぞれの特性をいかしていける社会が実現できればいいと思います。(男性 40 歳代)
- ◆男性、女性の本来の役割や特性を十分に理解したうえで、平等な社会を築いてほしい。スポーツでも男女は分けている。仕事でもその特性については配慮されるべきと思う。(男性 50 歳代)
- ◆男女共同参画社会実現の為には個人の権利意識の向上、個人の人権尊重が基本になると思う。その点では日本より欧米の方が進んでいると思う。日本では、まだ社会通念や慣習面で不十分な所があり、そういう意識を改革していかなければならないと思います。(男性 60 歳代)
- ◆男女平等はかなり進んでいると思う。特に平等は女性の方が強くなりつつあり良い傾向です。特に意識は持っていません。(男性 60 歳代)
- ◆男女雇用機会均等法制定のもと女性の社会進出がかなり進んでいる現在であるが、全体を見るとまだまだ分野においては共同参画には程遠い現状である。今後は女性進出の出来やすい環境づくり（子育て支援の充実等）が必要である。(男性 70 歳以上)

#### (4) 健康や地域活動、老後の暮らしについて

- ◆肉親もなくこれからの人生が不安です。そういう為のカウンセリングの場を作ってください。(女性 40 歳代)
- ◆働いているので土日に参画出来るものが増えていくことを望んでいます。(女性 40 歳代)

- ◆地域活動に参加するといってもどのようにどのような方法でやるのかわからない。地域的に小グループであれば、参加しやすいかもしれません。(女性 60 歳代)
- ◆後期高齢者なので色々な行事や活動に参加したいですが身体の調子があまりよくないので参加するのが困難です。(女性 70 歳以上)
- ◆70 代になりますと理想はあってもなかなか活動に参加できません。(女性 70 歳以上)
- ◆男女共に就職しやすい子どもが育てやすい環境づくりをしてほしい。高齢化社会となり将来についても不安が大きい。(男性 30 歳代)
- ◆仕事が優先のため活動や交流の場に参加できかねます。(男性 60 歳代)
- ◆高齢化社会にあっては男女の性別に関係なく余裕のあるものが余裕のないものをカバーすることが家庭ではもちろん、地域社会（自治会の半単位）でも実践できるようになって欲しい。互いに声をかけあう場を持って孤独感などなくしたい。(男性 70 歳以上)

#### (5) 人権の尊重について

- ◆大人になってから、広報などで知らせるよりも、学校の中で自然と情報が得られるといいと思います。特に、障害者への配慮。中途半端な援助で“してあげている”と思われていることが嫌です。(女性 30 歳代)
- ◆言葉の暴力というのはいつまでも残ります。言った方は何も覚えていないけど、言われた方は心に残ります。(女性 60 歳代)
- ◆男女が、きちんと人権意識を自他共に培うことが大切だと思います。そのためには、子どもの時から自分の思いを伝える力、相手の思いも聞く中で話し合える力の教育、相手への思いやりを知ることが日常のなかで大切になっていくと思います。男女間でもこのことが基本だろうと思います。家庭での両親の関係のあり方が子どもに反映されています。父親が母親に対して、力で抑えたりすると、そのようなことを子ども同士でも、大人に対しても表します。大人の女性や老人に対する態度も家庭のあり方が反映されます。大人の女性（若い女性）は相手の話も聞く中で、相手への思いやりと責めるやり方だけでは理解されないと思います。「言葉」を大切にしていける文化を大切にしたいと思います。(女性 60 歳代)
- ◆障害者や難病の人の為もっと活動して欲しい。お願いします。(女性 70 歳以上)
- ◆テレビや漫画、雑誌など、DVや犯罪が当たり前にある、との前提で情報が氾濫している。メディアへの自制などの対策が必要ではないでしょうか？(男性 40 歳代)

#### (6) 男女共同参画社会の形成に関する意識について

- ◆学生なので自分には関係ない話では？と思いながらアンケートを書こうとしたのですが、内容を見てみるとすごく重要なことだと考えさせられました。私がもう少し年月が経って結婚、子育てとなったとき、よりよい社会になっていればと思いました。(女性 20 歳代)
- ◆共働きの家族は、普段忙しく情報を得ることが厳しい。東大阪市の「男女共同参画社会」形成への取り組みについて積極的に情報を流して欲しい。(女性 20 歳代)
- ◆基本的には、男女平等という言葉は、好きな言葉ではない。人権として、各個人が尊重されるのは間違いないとは思わないが、男性と女性を職場、家庭において、国や公共が平等だというのはどうかと思う。男性には体力や性格や本質的な部分で、出来る仕事もあるし、女性がそれをするを批判はしないが、あえて、出来ない女性をあおり立てるようで女性ならではの良さを生かせる仕事も世の中にはたくさんあるので、本人が望むのならば平等という言葉なくとも男も女も関係なく努力すればいいのではないかと思います。(女性 30 歳代)
- ◆情報が聞けないのでよく理解できない。(女性 40 歳代)
- ◆男も女も共に社会に出て、賃金労働をするべきだとの強迫観念のようなものを感じる。女であっても、

男であっても社会で活躍したい人、家庭での生活（主に子育て）を充実させたい人と色々なパターン、多様性のある生き方が選択できるのがいいと思う。キャリアも子育てもと何かもするのが（出来るのが）いい人生だと押し付けられているようでそういう面에선どい思っているのではないだろうか。家庭で子育てや介護をしている女性にこそ、ねぎらいを持つ社会になってほしい。（女性 40 歳代）

- ◆市民は「男女共同参画社会」このようなことを知らない人が多いと思う。もっと身近にチラシなどでも知らせて欲しいと思います。（女性 50 歳代）
- ◆家庭のプライバシーを守って無理しないで男女共同を考えて一人一人の考え方を取り入れ活動していったらと思います。（女性 50 歳代）
- ◆すべての点で、男女が対等ということは難しいと思います。男性に出来ること、女性にしか出来ないこと、価値観の違い、意見交換の出来る社会が理想です。（女性 60 歳代）
- ◆若い方たちに興味をもってもらい、たくさんの人が参加して欲しいと思います。（女性 60 歳代）
- ◆あまり聞いたことが無い文面が多いので東大阪市の新聞で知りたい。（女性 70 歳以上）
- ◆お上が「男女共同参画社会実現」と大上段に掲げられると身構えてしまう。また、時に行き過ぎた（偏った）女性の権利向上キャンペーンの為の錦の御旗のように掲げられるようなきらいがある。私の意識では男女同権という事について旧来から認識がずいぶん改善されているように思う。お上からの押し付けではなく自然な形で男らしさ女らしさよりも“その人らしさ”を大切にするような自然な形で施策が望ましいと思われる。追記、人権に限らずこのように市民の声を直接聞く機会がもっとあればいいと思う。その点で今回のアンケートはいい取り組みであると思う。（男性 20 歳代）
- ◆男女だからではなく、各個人の人権、主張が尊重される社会が望ましいと考えている。あまりに女性の権利を主張することが、かえって男性差別、無視となる事のないよう教育、活動をお願いしたい。（男性 20 歳代）
- ◆男女はメンタル面、身体づくり等異なるので平等は無理。理想を掲げても現実異なるので逆にさらに不満ができる。男女それぞれの良い点を尊重した社会にすべきである。（男性 20 歳代）
- ◆本当に実現する気があるのであれば、国（市）がもっと強力なリーダーシップを発揮し、指導していかないといけないと思います。（男性 30 歳代）
- ◆私自身このアンケートに答えるまでは「男女共同参画」という意味自体を分かっていない事や「今になって？」と感じたりしましたが、このアンケートをすることで関心を持っていきたいと思います。（男性 40 歳代）
- ◆この世に生をなした男・女という、もって生まれた性差（特に身体能力、母性父性等）は、いかんともしがたく、男女共同参画社会実現を計るには、根底部分でその性差を認め合うところが大事だと思います。（男性 40 歳代）
- ◆共同参画社会の実現推進はよいことと思うが、現在の市民生活には男女問題だけではなく、経済的・将来への不安が目先にある以上、このような参画活動に入るだけの余裕がありません。もっと、暮らしを守る保障を実現してもらいたい。（男性 50 歳代）
- ◆男女共同参画社会ではない事実を偏見なく把握し、それへの施策を考えるべし。その事実・事例が具体的に紹介されていないのではないかと。（男性 60 歳代）